

ネットワークアンケート ⑤9

糖尿病ネットワークを通して

医療スタッフに聞きました

Q. 患者さんが、指示通りに服薬できない理由は？

血糖降下薬を指示通り服用できるかどうかは、血糖の管理に大きく影響するだけでなく、服用を誤ると重篤な低血糖を招きかねません。今回は、治療の鍵となる服薬アドヒアランスについてと、昨今、種類が増えてきた配合薬について、皆さんのご意見を伺いました。

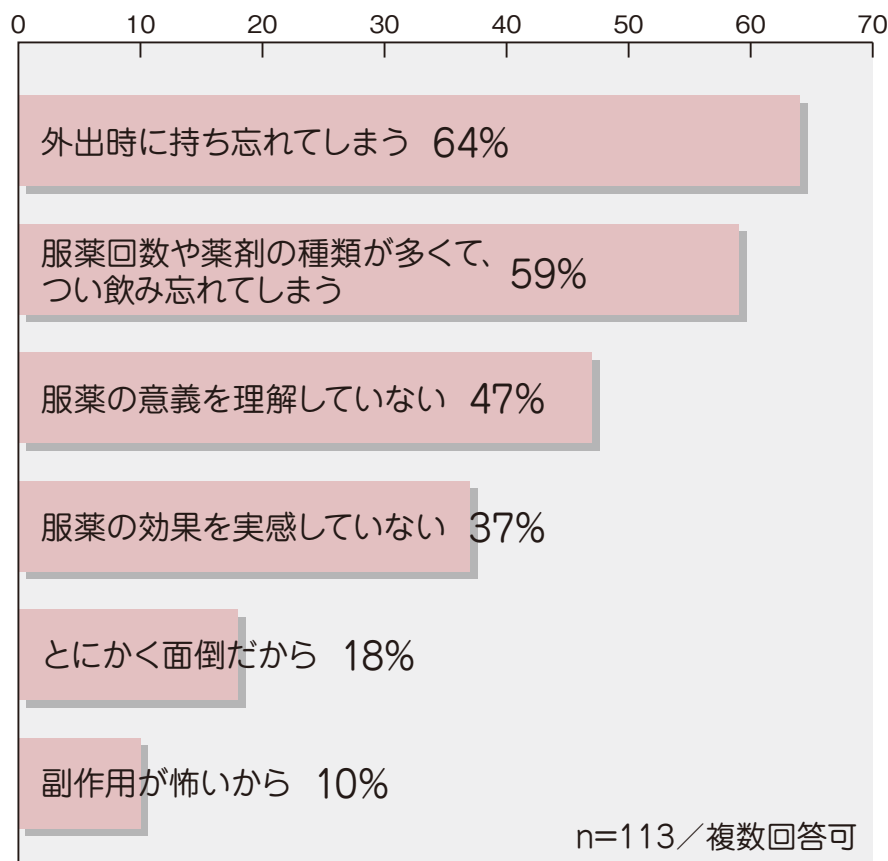
[医療スタッフ113名(医師15、看護師・准看護師41、薬剤師35、管理栄養士11、臨床検査技師2、理学療法士3、健康運動指導士2、保健師2、その他2。うち日本糖尿病療養指導士22、地域糖尿病療養指導士16、糖尿病認定看護師5) 患者さんやその家族407名(病態/1型糖尿病104、2型糖尿病280、その他の糖尿病4 年齢/30歳未満6、30歳代8、40歳代53、50歳代124、60歳代123、70歳代75、80歳以上18)]

皆さんは、どれくらいの患者さんが指示通りに服薬していると感じていますか？ 今回のアンケートでは「ほぼすべての患者さん」と回答したスタッフが27%、「半数程度」が60%、「3分の1程度」が11%、「ほとんどの患者さんが指示を守っていない」は2%でした。

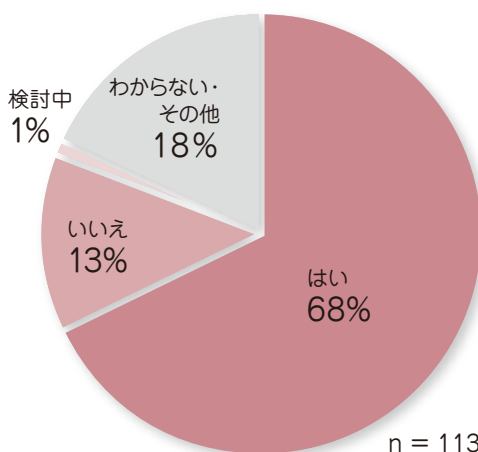
また性別や年代、糖尿病歴といった患者さんの特性で服薬アドヒアランスに差があるかどうか聞いたところ、「差はない」という回答が最多となりました。

さらに患者さんが指示通りに服薬できない「理由」について聞いたところ、「外出時に持ち忘れてしまう」を選んだ人が64%で最も多い結果に。次いで、「服薬回数や薬剤の種類が多くて、つい飲み忘れてしまう」を、59%のスタッフが選択しました。また「服薬の意義を理解していない」「服薬の効果を実感していない」という点を指摘した人はそれぞれ47%と37%でした。

患者さんの服薬アドヒアランスを改善するためには、「配合薬」への切り替えも対策の一つです。今回のアンケートでは、勤め先の医療施設や薬局などで配合薬を処方している人が約7割。その理由として、9割

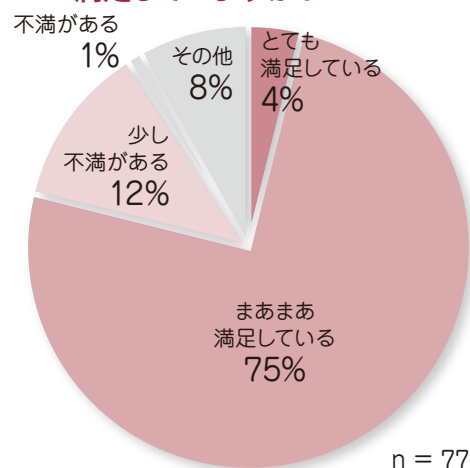


Q. 貴院では、配合薬を処方されていますか？



が「服薬アドヒアランスを改善するため」を挙げています。また配合薬に変更した結果に対しては、約8割が「とても満足」「まあまあ満足」と回答。昨今、種類が豊富に

Q. 配合薬に変更された結果に、満足していますか？



なり処方の選択肢が増えてきた配合薬ですが、実際の医療現場でも7割以上の方が「配合薬の処方が増えている」と感じているようです。